

	意見内容	委員名	当日の回答	今後の対応	担当
1	区民広場を活用して、和太鼓等々を使って演奏するような行事もこれからは出てくると思う。ただ、企画したけど、(音量がうるさくて)駄目ですと言われてしまう可能性がある。例えば、これぐらいの音量だったらいけますよとか、そういった基準をある程度規定し、何かの形でPRしていただけたら。	山田委員	維持管理要綱において、他の利用者や近隣住民の迷惑となるような騒音や悪臭を出すことというのは禁止と定められています。今後、事業を計画していく中で、一定の基準を作り、近隣住民のみならずなどに周知し、ご理解を得るような丁寧なご説明はしていく必要があると考えています。	(当日回答のとおり)	政策企画 市民協働
2	区民広場では、「安全・安心なまち都島」につながるテーマでイベントを行うべき。 例えば、かまどベンチを活用し、大釜でたくさん炊いて皆さんに振る舞うというイベントをしたり、キッチンカーを誘致してプロの料理人が防災食を使って料理を作るイベントなどはどうか。そこに地域の方も巻き込みつつ、子ども達も集めていくと、防災がもっと身近になるのでは。	江川委員 猪原委員 濱崎委員	(その場での回答無し)	区民広場は、「緑を軸にしたまちづくり」をコンセプトとして、災害時の一時的な避難場所、地域コミュニティの醸成の場、子どものスポーツ・遊び場などとして多くの方に親しまれ、にぎわいを生み出す場所となることをめざしています。区政委員のみならずからいただいたご意見を踏まえ、区民広場の特色を生かしたイベントの実施を検討してまいります。	防災地域活性
3	マンションに土日の2日間、2台で入れ替わり、計4種類のキッチンカーが来ていた。結構にぎわっていて、幅広い年齢層の方たちが並んで買って楽しんでた。区民広場でも、そういったキッチンカーを誘致するイベントはどうか。	高田委員	(その場での回答無し)		政策企画 市民協働
4	区民広場の人工芝部分を活用し、例えば今流行っているダンスのテーマを決めて、公募で団体を募って、人数の制限もした上で、同じスペースを使って同じ楽曲で踊っていただくコンテストをして、入賞した方には都島区の公式YouTubeチャンネルで流すとか、あるいは、ラジオ体操のような動画を幼稚園児の園児さんとか、あるいは住みます芸人の方に踊っていただき、その動画を見ながらシルバーの方々、決まった時間にラジオ体操と一緒にいただいで健康増進につながる踊りのイベントはどうか。	高野委員	(その場での回答無し)		政策企画 市民協働
5	コミュニティの育成という観点で、区民広場には人数が沢山入らないため、各事業を1回するのではなく、テーマを持って何回かに分けて実施するのはどうか。	猪原委員 濱崎委員	(その場での回答無し)		政策企画 市民協働 防災地域活性
6	区民広場は消防署も近いので、各連合ごとで、防災の女性チームや防災リーダーを呼び、順番に防災訓練するのがいいのでは。 また、給水車を呼び、実際にお宅まで水を運んでいただくと、「こういうことに気をつけたい、リュックやったら家まで持って帰れる、カートを押していったらもっと楽に運べる」とか、体験によっていい勉強になると思う。	中口委員 熊本委員	(その場での回答無し)		防災地域活性

	意見内容	委員名	当日の回答	今後の対応	担当
7	友淵町において、青少年指導を友淵中学校の中学校区で回る取組を行っている。地域の交番の巡査の方も参加していただいて、校区のところを月に1回、午後9時から巡回している。これまで巡回していて、特に夜中にたむろしている中学生とか高校生とか、そういう非行少年のようなことはほとんどなかったと聞いている。地域的なこともあるが、これらの取組は抑止力になっていると感じる。	高野委員	(その場での回答無し)	貴重なお意見として賜り、今後の区役所の取組の参考とさせていただきます。	防災地域活性
8	西都島でも青少年指導委員や青少年福祉委員の人たちと協力し、毎月25日21時から、必ず5人以上で巡視している。パトロールする場所も毎回同じところではなく、ところどころ変えている。塾帰りのコンビニに寄っていないかとか、公園でたむろしていないかとか、公園で花火していないかとか、いろいろ声かけはしているが、見かける数も以前よりは少なくなってきた。	熊本委員	(その場での回答無し)		防災地域活性
9	町会として防災ワークショップというのを近所の地域で実施した際に、福祉会館で行ったが、全然近所の人が集まってくれなかった。段ボールベッドの実演を行ったり、消火器や発電機の発動の仕方とか、子どもも大人もためになるようなワークショップだったが、人数が集まらず広く行き渡らなかった。	高野委員	(その場での回答無し)	防災の出前講座等では、従来のやり方だけではなく、コロナ禍を意識した手法（FaceTimeなどのビデオ通話アプリケーションを用いた講座、福祉会館の1階2階を分けて人数制限をしたうえでの会議開催など）を進めております。今後も工夫しながら実施し、少しでも多くの方に安心して参加いただけるよう努めてまいります。	防災地域活性
10	京橋商店街では、都島区が目指す「安全で美しいまち」ということで、商店街のパトロールをしている。路上喫煙や違法な客引きとか啓発活動については、11ある商店街の皆さんから代表でボランティアに出していただき、見回りをしている。また、放置自転車については月3、4回ほど、同様に、皆さんにボランティアで出てきていただき啓発活動を実施している。合わせて、景観向上ということで、落書き防止のための壁面アートなども実施してきた。しかしながら、違法な客引きなどの見回りしているときは、客引き等も行われていないが、見回りが終わると、すぐに出てきて、客引きが行われている。そのため、取組の工夫が必要であると考えている。	猪原委員	(その場での回答無し)	区役所としても、「安全で美しいまち」の実現をめざし、「京橋地域の安全なまちづくり連絡協議会」と連携しながら、今後も客引き対策の取組を強化してまいります。	防災地域活性
11	防犯カメラの設置について、地域で設置の要望をしたとき、費用負担が大きい。設置や維持費用を地域でかからないようにできないのか。	山田委員	防犯カメラの設置について、少額ではあるが区役所の予算は毎年計上されています。新規設置及び、更新の経費が計上可能であるため、地域からのご要望があれば、お話をお伺いし、予算化していく形となります。	(当日の回答のとおり)	防災地域活性

	意見内容	委員名	当日の回答	今後の対応	担当
12	<p>私の避難場所は「桜宮中学校」を指定されているが、町内のお年寄りの方から、もし何かあったときにそこまで逃げる体力がないというお声を聞いた。ひとり暮らしの方がいて、そこまで200メートル、300メートル移動する体力がないのでどうしたらいいのかと。</p> <p>以前、津波とか避難場所指定地域はステッカーを貼っているということを知ったが、避難場所を提供してもいいよという建物等が増えているなら、地域に説明するため情報発信して欲しい。</p>	早光委員	<p>津波避難ビルについては少しずつ増えております。登録していただくたびに広報誌で、このビル、このマンション、津波避難ビルに登録していただきました、協力していただきましたと紹介しています。</p> <p>広報誌8月号も防災特集になっておりますので、その中にもリストは載せております。</p>	(当日の回答のとおり)	防災地域活性